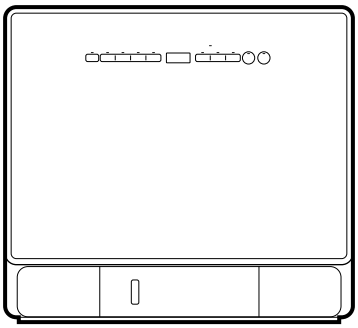
食器洗い乾燥機

ANG-DW-A13



取扱説明書 **保証書つき**

このたびは本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この製品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり充分に理解してください。
お読みになった後は、お手元に置いて保管してお使いください。

この取扱説明書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

この製品は家庭用です。
業務用にはお使いにならないでください。
日本国内専用
USE ONLY IN JAPAN

もくじ

安全上のご注意 …… 2
各部のなまえ …… 5
食器を洗う前に …… 8
洗剤の入れかた（自動投入・手動投入）…… 9
食器の洗いかた …… 12
お手入れのしかた …… 22
据え付け …… 28
仕上がりが気になるとき …… 33
故障かなと思ったら …… 34
こんな表示が出たら …… 36
修理をご依頼いただく前に …… 37
仕様 …… 38
部品・消耗品 …… 38
保証とアフターサービス …… 39
保証書 …… 40

最初に「据え付け」28 ページをお読みになり、正しく設置してください。

安全上のご注意

—— 必ずお守りください ——

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他のかたへの危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

表示の説明

⚠ **警告**	取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ **注意**	取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

図記号の説明

禁止（してはいけない内容）を示します。

実行しなくてはならない内容を示します。

⚠ 警告

本製品の取り扱いについて　火災や感電、けがなどを防ぐために必ずお守りください

分解禁止

分解、修理や改造を絶対に行わない
発火・感電・けがの原因になります。修理は、お買い上げの販売店または家電の119番 訪問修理窓口にご相談ください。

禁止

子ども、取り扱いに不慣れな人、補助を必要とする人だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使わない
やけど・感電・けがの原因になります。操作できる人が必ず付き添ってください。

水ぬれ禁止

本体、電源コード、電源プラグを水につけたり、水をかけたりしない
火災・ショート・感電の原因になります。

禁止

火気を近づけない
タバコや火のついたローソク・蚊取り線香などを本体に近づけないでください。火災の原因になります。

運転中または運転終了後30分は、絶対に庫内や食器、メッシュトレイに触れない。お手入れは運転終了後、30分以上経過してから行う
やけどの原因になります。

アース接続

アースを必ず取り付ける
故障や漏電時、感電の原因になります。アース工事は、必ずお買い上げの販売店または電気工事店に依頼してください。（工事費は本体価格に含まれません。）

ガスコンロなどの熱源から15cm以上離す
火災の原因になります。

禁止

穴、すき間、開口部に指を入れたり、ピンや針金などの金属物を入れない
火災・感電・やけどの原因になります。

製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜く
発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。
＜異常・故障例＞
- 電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している
- 電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い
- 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
- 本体が変形したり、異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする
- 本体が作動しない
- 電源を入れても運転しないことがある
- ドアの開閉動作に異常がある
- 運転中、異常な音がする　など

お買い上げの販売店または家電の119番 訪問修理窓口に点検・修理を依頼してください。

禁止

運転中は本体に衝撃を与えない
感電・漏電・ショートによる火災の原因になります。

ナイフや先の尖ったものは、尖っている方を下向きに入れるか、横に寝かせて入れる
けがの原因になります。

子どもが本製品で遊ぶことがないように注意する
やけど・感電・けがの原因になります。

⚠ 警告

電源コード・電源プラグの取り扱いについて　火災や感電、けがなどを防ぐために必ずお守りください

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグ、電源コードの抜き差しをしない

禁止

電源コードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。

電源プラグの刃および刃の取り付け面に付着したほこりはふき取る
ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。

禁止

電源プラグをなめさせない
特に乳幼児には触れさせないように注意してください。

定格15A以上、交流100Vのコンセントを必ず単独で使う
たこ足配線などで定格を超えると、発熱・発火・火災・感電・故障の原因になります。

禁止

延長コードやテーブルタップは絶対に使わない
コンセントや電源プラグ・電源コードが異常発熱し、発火の原因になります。

禁止

電源コード・電源プラグを傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、挟み込む、束ねるなどはしない

プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く

プラグを抜く

お手入れするときや長期間使わないときは電源プラグをコンセントから抜く
外出するときや長期間使わないときは、電源プラグを抜いていることを確認してください。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。

電源コード、電源プラグを水につけたり、水をかけたりしない

水ぬれ禁止

火災・ショート・感電の原因になります。

電源コードが破損した場合、コードの交換は危険を防止するために、お買い上げの販売店または家電の119番 訪問修理窓口に点検・修理を依頼する
感電・ショート・発火の原因になります。

⚠ 注意

禁止 **冬場に凍結するおそれがある場所(室温0℃以下)に置かない**
故障の原因になります。

禁止 **絶対に業務用に使わない**
一般家庭用です。業務用にお使いになると無理な負担がかかり、火災・故障の原因になります。

禁止 **操作部に磁気のあるものを近づけない 本体に磁石を取り付けない**
誤作動の原因になります。

禁止 **食器の洗浄、乾燥以外の用途には使わない**
故障の原因になります。

禁止 **背面の排気口、吸気口をふさがない**
故障の原因になります。

禁止 **排気口から出る蒸気が壁や家具などに当たったり、こもったりするところで使わない**
壁や家具などの変色、変形、破損の原因になります。

禁止 **電灯などの電気器具に排気口から出る蒸気を当てない**
感電、ショートによる発火の原因になります。

食洗機専用洗剤を使用する
台所用洗剤などを使用すると泡が大量に発生し、水漏れや故障の原因になります。

禁止 **台所用洗剤や重曹を使用しない**
台所用洗剤が付いた食器は洗い流してから入れてください。また、重曹を使うと故障の原因になります。

禁止 **お湯を使用しない**
お湯を給水すると故障の原因になります。また本製品は給湯機に接続できません。

禁止 **強化ガラス製のものを入れない**
破損してけがをしたり、故障の原因になります。

付属品は必ず専用のものを使う
異なる製品の付属品を使用すると、付属品の破損、本製品の故障の原因になります。

運転終了後は分岐水栓を閉める
水漏れの原因になります。

禁止 **ドアを開けたとき、ドアの上にものを載せない**
落下して、けが・故障の原因になります。

禁止 **本体の上に乗ったりものを置いたりしない**
落下、破損によるけがの原因になります。

禁止 **開いたドアや本体を強く押さない**
転倒・落下によるけがの原因になります。

禁止 **食器がはみ出た状態でドアを閉めない**
ドアが変形し、熱湯や水が飛び出し、やけどの原因になります。

ドアを開閉するときは、指を挟まないように注意する
けがの原因になります。

禁止 **排気口から出る蒸気や排水ホースからの排水(高温)に触れない**
やけどの原因になります。

運転中にドアを開けるときは、《スタート／一時停止》ボタンを押して運転が停止したことを確認する また、高温の庫内・メッシュトレイ・蒸気・食器などに充分注意して開ける
やけどの原因になります。

禁止 **運転中に本体を動かしたり傾けたりしない**
水漏れの原因になります。

禁止 **テレビやラジオなどの電気製品は、製品の近くで使わない**
映像の乱れや雑音の原因になります。

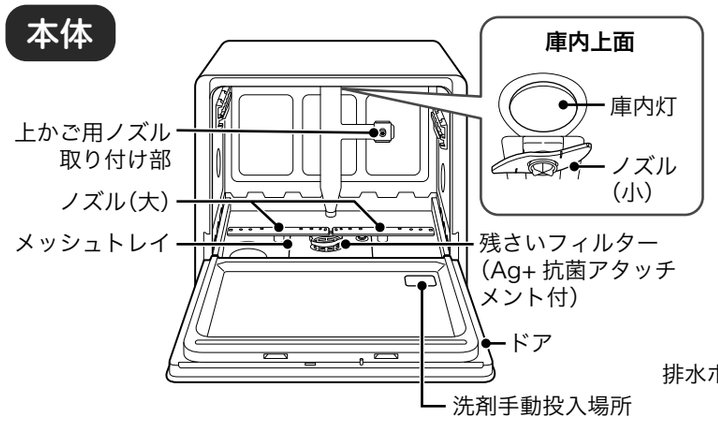
使用しないときはドアを閉める
設置場所によっては、手が当たったり、つまずく原因になります。

周囲にできる限り物がない所に置く
本体から出る水蒸気によって、結露することがあります。

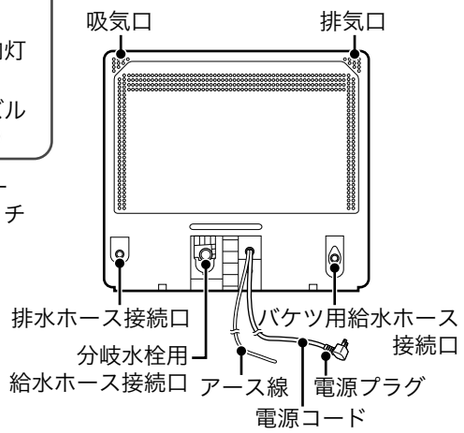
熱源から離し、直射日光の当たらない所に設置する
塗装のはがれや変色の原因になります。

各部のなまえ

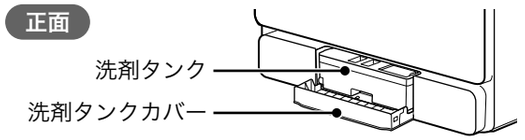
本体



背面



正面



ご注意

- **排気口、吸気口をふさがないでください。**
- **排気口から出る蒸気に触れないでください。やけどの原因になります。**

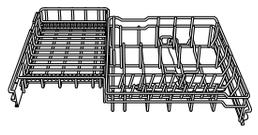
付属品

⚠ 注意

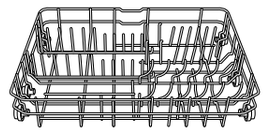
庫内の上かご・下かごに入っている梱包材や乾燥剤を使用前に必ず取り出してください。

▶ 上かご(上かご用ノズル付き)

上かご用ノズルが取り付けられています。



▶ 下かご

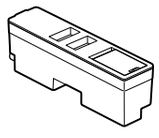


▶ 小物トレイ

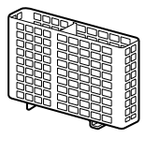
上かごの左側に載せて使用します。



▶ 洗剤タンク

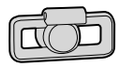


▶ 小物入れ

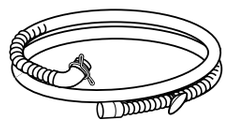


▶ キャップ

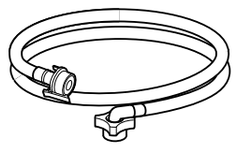
上かご用ノズルを使用しないとき、ノズル取り付け部に取り付けます。



▶ 排水ホース(クリップ、吸盤付き)(2 m)



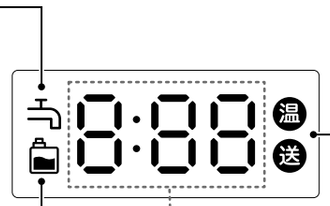
▶ 分岐水栓用給水ホース(1.5 m)



| 各部のなまえ

操作部

ディスプレイのみかた



給水アイコン

給水中に点灯します。
運転時に水不足を検知すると点滅します。

➡ **給水時のエラーと対応方法について、「こんな表示が出たら」（36 ページ）をご確認ください。**

洗剤量多めアイコン

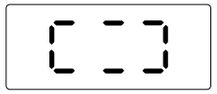
自動投入の洗剤量を多めに設定したとき、点灯します。

運転残り時間（目安）が表示されます。

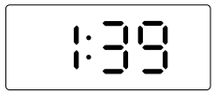
温風／送風アイコン

乾燥モード（温風・送風）が表示されます。

コース選択時の表示

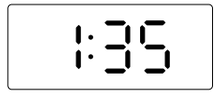


「おまかせ」「しっかりおまかせ」コース選択時の表示

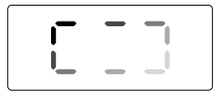


「標準」「念入り」「スピーディ」「ソフト」洗浄コース選択時、運転時間を表示

運転中の表示



運転残り時間の表示
追加の温風・送風乾燥は洗浄コース終了後から残り時間が表示されます。



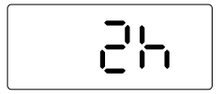
「おまかせ」「しっかりおまかせ」コースで汚れ具合を検知中の表示
洗浄が終わり、すすぎが始まると運転残り時間の表示に変わります。

運転終了の表示



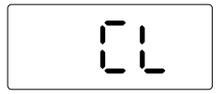
10 分経過すると、自動的に電源をオフにします。

予約中の表示

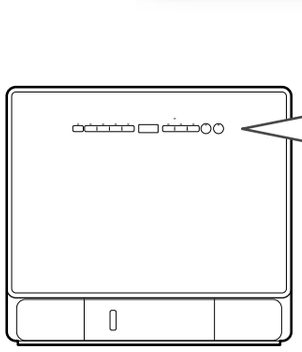


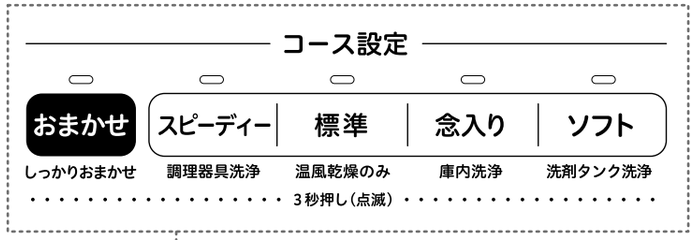
《予約》ランプが点灯し、予約運転開始までの残り時間が表示されます。

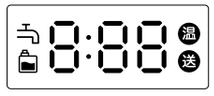
チャイルドロック中の表示

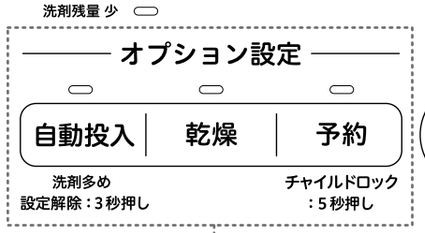


チャイルドロック中にボタンを押すと、ディスプレイに［CL］と表示されます。
チャイルドロックを設定するには、本体の《予約》ボタンを長押し（約 5 秒）します。
解除するときは、再度《予約》ボタンを長押し（約 5 秒）します。













《入／切》（電源）ボタン
本体の電源を入れる、切るときに押します。誤作動防止のため、ボタンを素早く押しても反応しないようにしています。

- 運転終了後約 10 分経過すると、自動的に電源をオフにします。

《スタート／一時停止》ボタン
運転を開始する、一時停止するときに押します。一時停止中はランプが点滅します。

- 運転中に《スタート／一時停止》ボタンを押すと一時停止します。
- 一時停止中に再び《スタート／一時停止》ボタンを押すと、運転を再開します。
- 一時停止してから約 10 分経過すると、自動的に電源をオフにします。

ランプ点灯

《おまかせ》
省エネ・時短・節水したいとき
にごり度センサーが食器の汚れを検知し、自動で汚れ具合に合わせて洗浄します。

《スピーディー》
軽い汚れのもの、つけおきや水洗い後のものを洗うとき
他のコースと比べて運転時間が短いため、水滴が残ったり油汚れのあるものは汚れが完全に落ち切らなかったりする場合があります（洗いとすすぎのみのコースです）。

《標準》
食後すぐに洗うとき

《念入り》
食後から時間が経過したものや、調理器具などを洗うとき

《ソフト》
プラスチック製の食器を洗うとき、耐熱温度 65℃～90℃のものを洗うとき
プラスチック製の食器は、料理の色素で色がついてしまう場合がありますので食後すぐに洗ってください。

コース設定ボタン長押し（3 秒）で切り替え

ランプ点滅

《しっかりおまかせ》
汚れに合わせてしっかり洗浄したいとき
《おまかせ》ボタンを長押し（約 3 秒）すると、しっかりおまかせコースを設定できます。食器の汚れを検知し、汚れ具合に合わせて自動ですすぎ回数を増やします。

《調理器具洗浄》
フライパン、なべ、まな板などの調理器具のみを洗うとき
《スピーディー》ボタンを長押し（約 3 秒）すると、調理器具のみを洗浄できます。

《温風乾燥のみ》
食器の乾燥（温風）のみを行いたいとき
《標準》ボタンを長押し（約 3 秒）すると、温風乾燥のみの運転を 1～4 時間で設定できます。

《庫内洗浄》
庫内の汚れが気になるとき
《念入り》ボタンを長押し（約 3 秒）すると、庫内を洗浄できます。※庫内洗浄時は食器を入れないでください。

《洗剤タンク洗浄》
洗剤タンクをお手入れするとき（3 か月ごと）、洗剤の種類を変更するとき、1 か月以上使用しなかったとき
《ソフト》ボタンを長押し（約 3 秒）すると、洗剤タンクを洗浄できます。洗剤投入経路の詰まりを防ぐために、3 か月ごとにお手入れを行ってください。
洗剤タンク洗浄時は食器を入れないでください。

ランプが点滅しているコースから他コースへ切り替えるときは、選択しているコースボタンを長押し（3 秒）して点滅を解除してください。

《自動投入》 ランプ点灯
自動投入する洗剤量（標準 / 多め）を変更できます。
洗剤を手動投入するときは、長押し（約 3 秒）して、自動投入の設定を解除してください。

《乾燥》 ランプ点灯
選択した洗浄コースに、追加の温風乾燥または送風乾燥を設定できます。

《予約》 ランプ点灯
設定した時間後に運転を開始します。
1h ～ 6h まで 1 時間刻みで設定できます。

➡ **各オプション設定について、20～21 ページをご確認ください。**

➡ **各コースの運転内容・時間の目安について、16～17 ページをご確認ください。**

食器を洗う前に

洗えないもの

⚠ 注意

▶ 強化ガラス製のもの

強化ガラス製の食器などは、洗浄中に粉々になって破片が飛び散り、けがの原因になります。

▶ 飛ばされやすい軽いもの

プラスチック製のスプーンやふた、発泡スチロール容器、ふきん、スポンジ、ほ乳瓶の吸い口などの軽いものは、水圧で飛ばされて変形や破損の原因になります。

▶ 熱に弱いもの

- 耐熱90℃未満の食器
- 耐熱表示のないプラスチック製の食器
  （耐熱65℃以上のプラスチック製の食器は、ソフトコースで洗えます）

▶ 割れやすいもの

- 傷のついたガラス食器
- ひびの入った食器
- 木製の柄の付いたなべ、包丁

▶ 変色しやすいもの

- 銀製、洋銀製食器など
- アルミ製、銅製のなべや食器
- 木（竹、とう）製食器
- 漆塗り食器、重箱、金箔入りの食器、上絵付けの食器
- クリスタルグラス

▶ その他

- 鉄製のフライパンなど錆びるおそれがあるもの
- フッ素加工のフライパンなどで表面に傷があるもの
- びんやとっくり
- 食洗機専用洗剤に洗えないものとして記載があるもの
- 食器洗い機で洗えないと記載がある食器

ご注意 **• 上記に記載のない食器については、販売店や製造メーカーにお問い合わせください。**

洗う前の準備

1 食べ残しや故障の原因になるものを取り除く

- 輪ゴムやつまようじ、魚の骨などの固いもの
- 再付着するようなゴマなどの細かい残さい
- においが取れにくい魚の皮など
- 油のかたまりなどのひどい汚れ

2 きれいに落ちないものをスポンジ等でこすり落とす

- なべの焦げ付き
- 食器の焦げ付き、こびり付き
- はしのこびり付き
- 口紅の汚れ

ご注意 **• プラスチック製の食器に付いた食品の色や定着した茶渋などの汚れは落ちないことがあります。**

洗剤の入れかた（自動投入・手動投入）

- 自動投入：液体洗剤を洗剤タンクに入れておくと、自動的に庫内に投入されます。
- 手動投入：洗うたびに洗剤を入れます。

使える洗剤・使えない洗剤

洗剤の種類		自動投入	手動投入*	ご注意
食洗機専用洗剤	液体洗剤	○ 下記参照	○	ご使用前に食洗機専用洗剤に記載された、安全上と使用上の注意もご確認ください。
	液体洗剤（濃縮タイプ）	×	○	
	粉末洗剤	×	○	
	タブレット洗剤	×	○	
台所用洗剤		×	×	大量の泡が発生するため、少量でも付着していると故障の原因となります。
重曹		×	×	重曹の成分がかたまり、故障の原因となります。

* 洗剤量は、洗剤容器に記載されている使用量をご確認ください。

▶ 液体洗剤自動投入で使える洗剤・使えない洗剤

使える洗剤：右の二次元コードから使用可能な洗剤の最新情報を確認できます。
使えない洗剤：高粘度の液体洗剤は、自動投入されないことがあるため使用できません。

自動投入で洗うとき

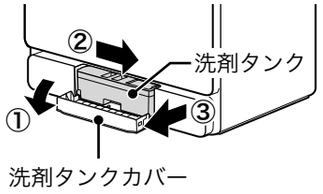
▶ 食洗機専用液体洗剤を入れる

1

洗剤タンクカバーを開けて、洗剤タンクを取り出す

①洗剤タンクカバーを開ける
②洗剤タンクを右にスライドする
③洗剤タンクを手前に引き出す

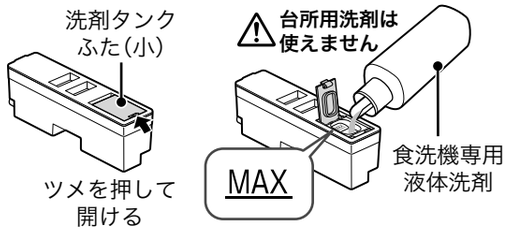
洗剤タンクに貼付の説明をご覧ください。



2

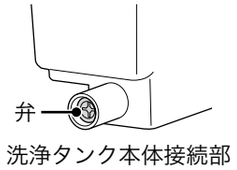
洗剤タンクふた（小）を開けて、MAXまで食洗機専用液体洗剤を入れる

- 容量のめやす：350 g



ご注意

- **種類の異なる洗剤を混ぜて使わないでください。故障の原因になります。**
- **本体接続部の弁を押さないでください。洗剤が漏れる原因になります。**
- **洗剤残量が少ないと、洗剤量を検知できず、洗剤が自動投入されません。**
- **洗剤タンクの取り外しのときに、洗剤が多少垂れます。垂れた洗剤を拭き取ってからご使用ください。**

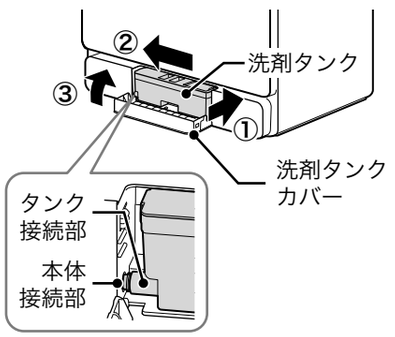


3

洗剤タンクを取り付ける

①洗剤タンクを奥に入れる
②洗剤タンクを左にスライドして押し込む
③洗剤タンクカバーを閉める

洗剤タンクに貼付の説明をご覧ください。



ご注意

- **洗剤タンクが奥までセットされていないと、洗剤タンクカバーが閉まりません。**

▶ 洗剤の補充

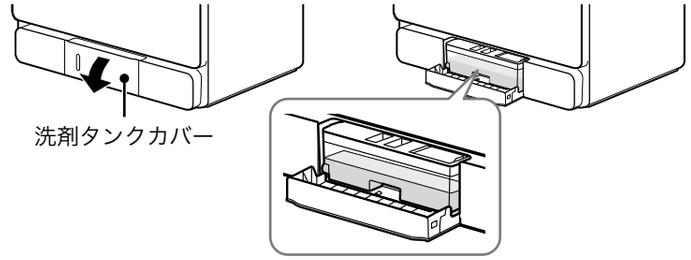
《洗剤残量 少》ランプが点滅しているときは、洗剤の補充が必要です。洗剤を補充してください。

ランプ消灯	ランプ点滅	ランプ点滅＋[C1]表示
洗剤残量 少	洗剤残量 少	洗剤残量 少 ＋ C1
洗剤あり	運転中に洗剤量が少ない	洗剤量が少ない*

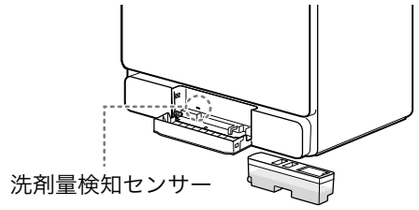
* 洗剤タンクの洗剤量が少ないため、運転ができません。洗剤を自動投入で洗うときは洗剤タンクに洗剤を入れてください。《スタート／一時停止》ボタンを押して運転を開始してください。
洗剤を自動投入しないで手動投入で洗うときは、《自動投入》ボタンを長押し（約3秒）して自動投入を解除してお使いください。《スタート／一時停止》ボタンを押して運転を開始してください。
手動投入から自動投入へは自動で切り替わりません。再度、自動投入で洗うときは《自動投入》ボタンを押して自動投入を設定してください。

ご注意

- **洗剤の残量は、洗浄タンクカバーを開けて確認してください。**



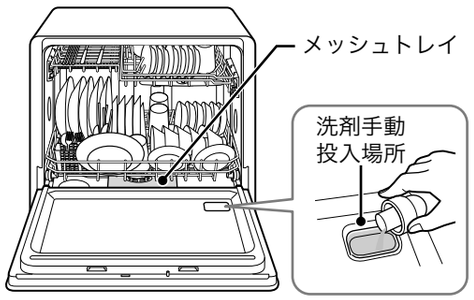
- **洗剤タンクや洗剤タンクカバーの内側、洗剤量検知センサーの周りを定期的に清掃してください。**
  洗剤量の誤検知の原因になります。
  ➡「洗剤タンク」 26ページ
  ➡「洗剤タンクカバーの内側」 27ページ



手動投入で洗うとき

▶ 食洗機専用洗剤を入れる

粉末または液体洗剤は、右図の洗剤手動投入場所に入れてください。
タブレット洗剤はメッシュトレイの上に置いてください。



食器の洗いかた

食器を入れる

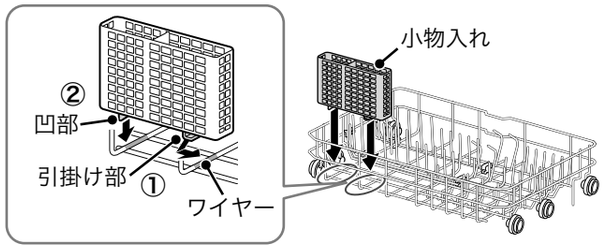
- ノズルの噴射水が当たるように、食器の汚れた面を図のように矢印の方向に向けて入れてください。
- コップや湯呑みは下向きに入れてください。
- スプーンやフォークは小物入れに上向きにして入れるか、小物トレイに並べて置いてください。
- 図のように食器を入れると、標準食器*が40点入ります。
  大皿…5点　中皿…5点　小皿…16点
  茶わん…5点　汁わん…5点　コップ…4点
  小物類(はし、スプーン等)

* 標準食器とは、日本電機工業会自主基準「電気食器洗い機用食器に関する自主基準」(2009年9月17日改正)に基づいた食器のことです。

イラストは一例です。形状などにより、セットできない場合があります。

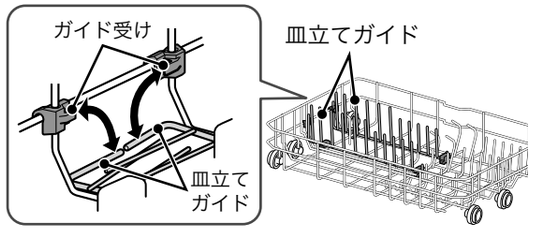
▶ 小物入れの取り付けかた

小物入れの引掛け部を下かごのワイヤーに引掛けたあと、凹部をワイヤーにはめ込んで取り付けます。
ご使用の前にきちんと小物入れが下かごに取り付けられているか確認してください。



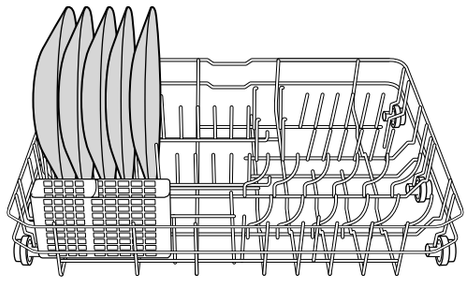
▶ 皿立てガイドについて

- 大きな食器を入れる際は、皿立てガイドを倒すことができます。
- 下かごに付いているガイド受けから皿立てガイドを外し、皿立てガイドを倒します。
  皿立てガイドを立てるときは、皿立てガイドの引っ掛け部をガイド受けにはめ込みます。



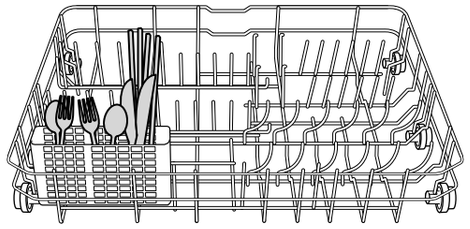
下かご

大皿
(直径23cm以下)



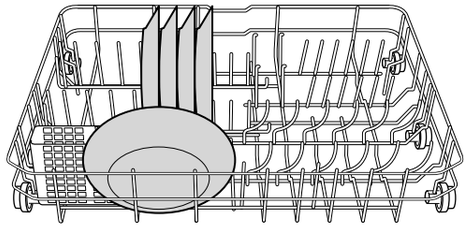
上かごを外すと直径27 cmまで入ります。

おはし・スプーンなど
(長さ22cm以下)

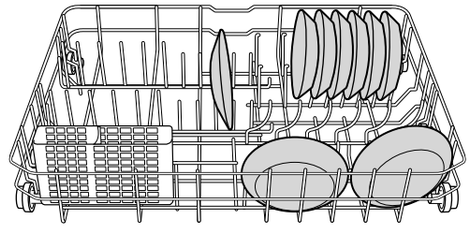


小物入れの底からはみ出さないように
注意して入れてください。

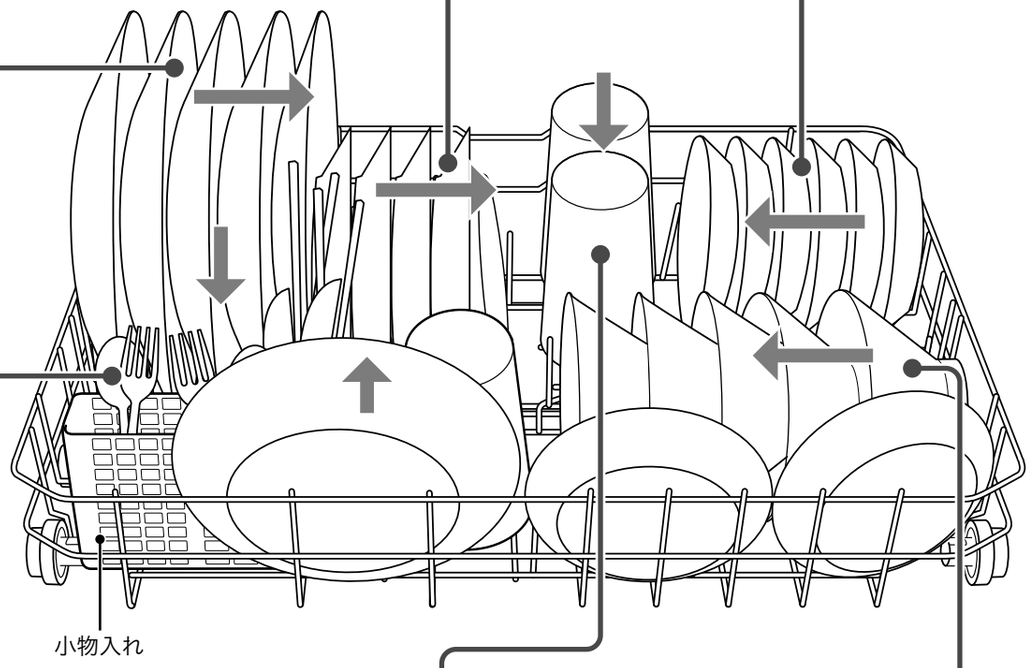
中皿
(直径17cm以下)



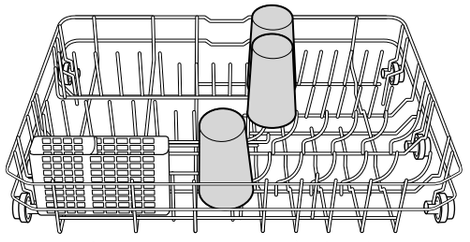
小皿
(直径12cm以下)



上かごにも入れることができます。

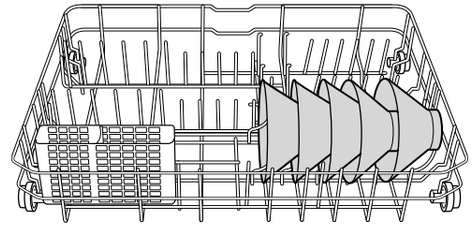


コップなど
(直径6cm以下、高さ11cm以下)



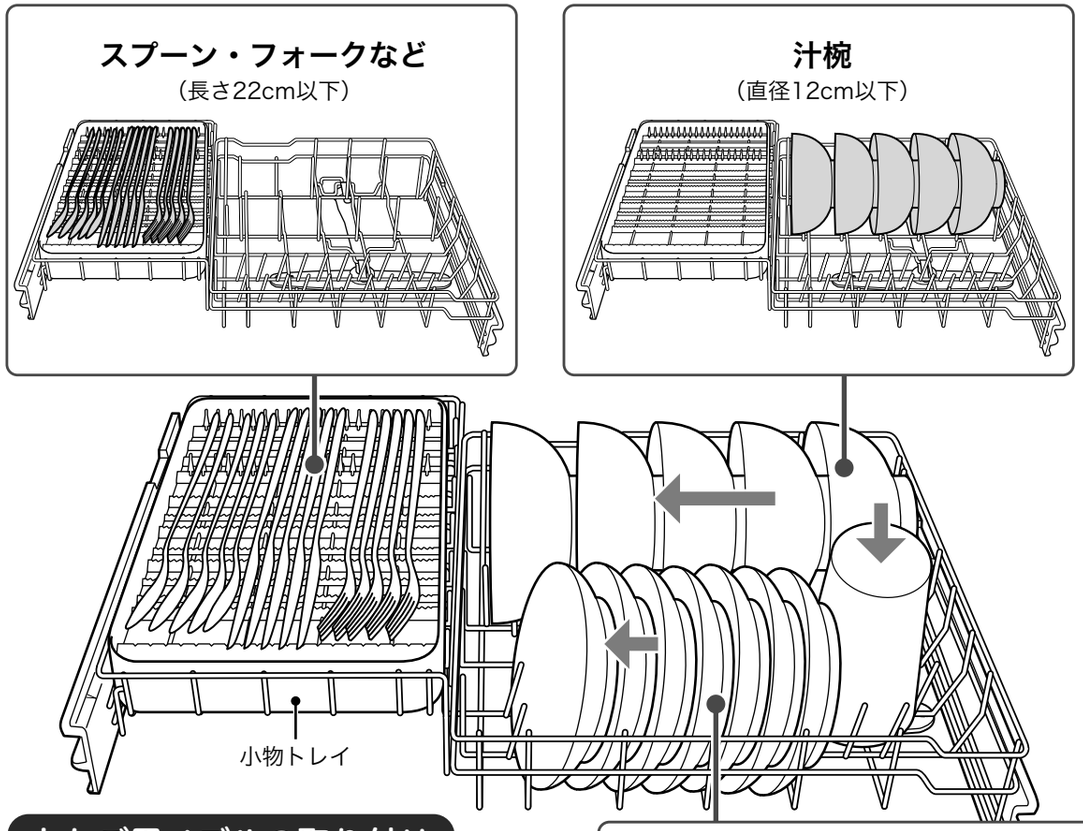
上かごにも入れることができます。

茶碗
(直径12cm以下)

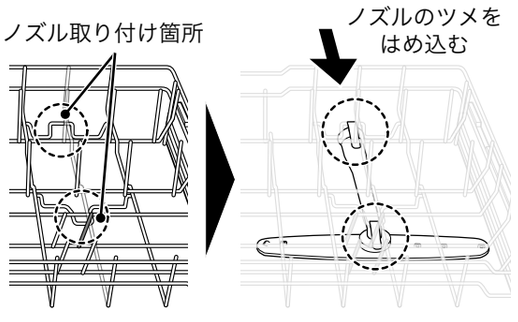


上かご

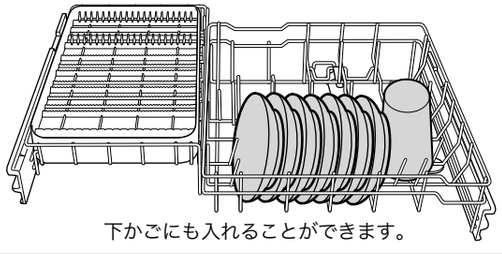
ノズルの噴射水が当たるように、食器の汚れた面を図のように矢印の方向に向けて入れてください。



上かご用ノズルの取り付け



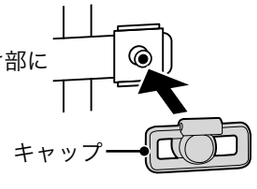
小皿（直径12cm以下）　**コップなど**（直径6cm以下、高さ11cm以下）



下かごにも入れることができます。

上かごを使用しないときは

必ず庫内奥の上かご用ノズル取り付け部にキャップを取り付けてください。

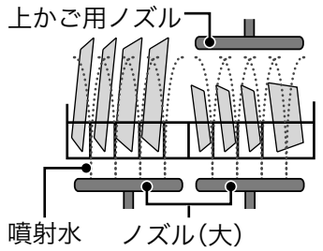


⚠ **キャップを取り付けないと、庫内底面のノズル（大）、庫内天面のノズル（小）の回転が止まり、洗浄できません。**

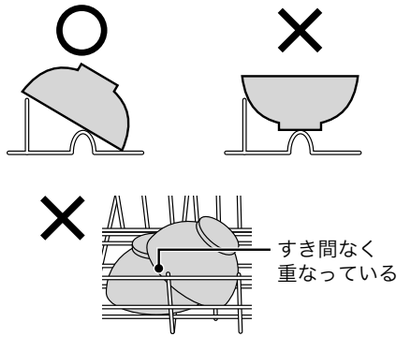
▶ 食器の並べかたのご注意

- 食器は汚れた面を下に向け、ノズルの噴射水が届きやすい角度で置いてください。
- 上かご用ノズルが下かごの食器に当たらないようにしてください。ノズルの回転が止まってしまい、洗浄できません。

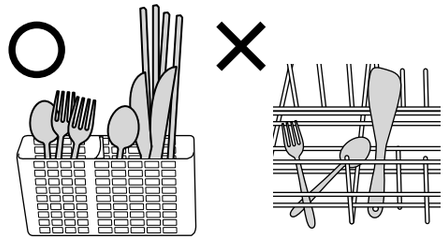
下かごを横から見た図



- 食器が重なっていたり、上向きになっていると、噴射水が届かないため洗浄できません。きちんと噴射水が当たるようにすき間を空けてください。



- 食器は倒れたり、落下したりしないように置いてください。
  スプーンや木べらなどの細いもの、小さいものは、小物入れに入れてください。
  洗浄かごから食器などが落下するとノズルの回転が止まってしまい、洗浄できません。



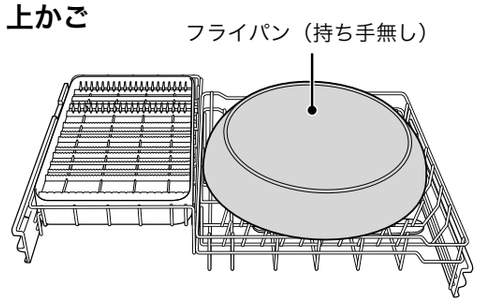
調理器具の入れかた

▶ 洗える調理器具のサイズ一覧と入れかたの例

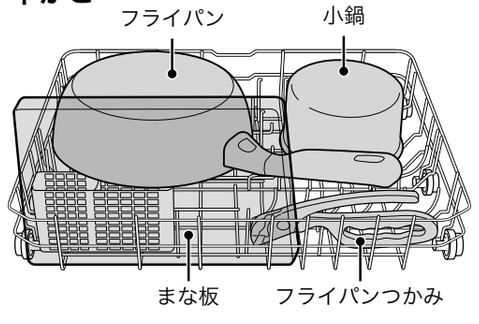
調理器具を洗う場合の置きかたとサイズの目安です。

種類	サイズ
中鍋	直径13 cm × 深さ6 cm以下
まな板	横25 cm以下 × 縦 18 cm以下 ×厚み1.5 cm 以下
フライパン大	直径 27 cm × 深さ 5 cm 以下
フライパン深型	直径 25 cm × 深さ 7 cm 以下

上かご



下かご



洗浄コースについて

▶ 運転内容：洗浄 → すすぎ → 送風 → 追加の温風、または送風

コース	こんなとき	オプションモード➡20ページ ●：設定できる　ー：設定できない 自動投入	乾燥	予約	バケツ給水の使用水量の目安	運転内容・時間の目安（約）
おまかせ	**省エネ・時短・節水したいとき** にごり度センサーが食器の汚れを検知し、自動で汚れ具合に合わせて洗浄します。	●	●	●	9.5リットル	**1時間10分〜 2時間**＋追加の温風、または送風乾燥（60分） 20〜45 分 → 24〜49 分 → 26 分 → 60 分
しっかりおまかせ	**汚れに合わせてしっかり洗浄したいとき** 食器の汚れを検知し、汚れ具合に合わせて自動ですすぎ回数を増やします。	●	●	●	11.5リットル	**1時間17分〜 2時間10分**＋追加の温風、または送風乾燥（60分） 20〜45 分 → 31〜59 分 → 26 分 → 60 分
標準	**食後すぐに洗うとき**	●	●	●	9.5リットル	**1時間39分**＋追加の温風、または送風乾燥（60分） 35 分 → 38 分 → 26 分 → 60 分
念入り	**食後から時間が経過したものや、調理器具などを洗うとき**	●	●	●	9.5リットル	**2時間**＋追加の温風、または送風乾燥（60分） 46 分 → 48 分 → 26 分 → 60 分
スピーディー	**軽い汚れのもの、つけおきや水洗い後のものを洗うとき** 他のコースと比べて運転時間が短いため、水滴が残ったり油汚れのあるものは汚れが完全に落ち切らなかったりする場合があります。	●	●	●	9.5リットル	**45分**＋追加の温風、または送風乾燥（60分） 20 分 → 25 分 → 60 分
ソフト	**プラスチック製の食器を洗うとき、耐熱温度65℃〜 90℃のものを洗うとき** プラスチック製の食器は、料理の色素で色がついてしまう場合がありますので食後すぐに洗ってください。	●	ー	●	9.5リットル	**1時間35分**（追加の温風、または送風乾燥は設定できません） 34 分 → 35 分 → 26 分
調理器具洗浄	**フライパン、なべ、まな板を洗うとき**	●	●	●	7.5リットル	**1時間8分**＋追加の温風、または送風乾燥（60分） 22 分 → 30 分 → 16 分 → 60 分
温風乾燥のみ	**食器の乾燥（温風）のみを行いたいとき**	ー	ー	ー	ー	**1時間〜 4時間**（1時間ごとに設定可能） 1〜4 時間（温風）
庫内洗浄	**庫内の汚れが気になるとき** 食器を入れないでください。	●	●	ー	9.5リットル	**1時間33分**＋追加の温風、または送風乾燥（60分） 36 分 → 31 分 → 26 分 → 60 分
洗剤タンク洗浄	**洗剤タンクをお手入れするとき、洗剤の種類を変更するとき、1か月以上使用しなかったとき** 食器を入れないでください。	ー	ー	ー	8リットル	**最大12分**（分岐水栓の場合、水圧により表示された時間より早めに運転が終わることがあります） 12 分

おしらせ

- **洗浄コースの実際の運転時間は、給水される水の温度などによって変わります。**
- **すすぎの最後は加熱すすぎになります。（標準：約 75℃、念入り：約 75℃、スピーディー：約 50℃、ソフト：約 60℃）**

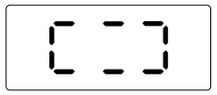
給水の準備をする

取扱説明書に従って正しく設置し、給水ホースを接続してください。
➡「据え付け」 28ページ
➡「給排水の接続」 30ページ

分岐水栓から給水する方法と、バケツから給水する方法があります。
給水の準備をした後、《スタート／一時停止》ボタンを押すと、給水が始まります。

1 入/切(電源)ボタンを押して電源を入れる

電源が入り、すべてのランプが点灯(約3秒)し*、前回使用時の洗浄コースとオプション(予約を除く)が設定され、運転時間を表示します。
お買い上げ時、または前回「温風乾燥のみ」コースの場合、
「おまかせ」コース＋洗剤自動投入になり、右図の表示になります。

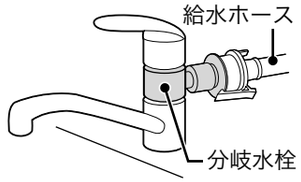


* すべてのランプが点灯したあとに、洗浄コースの選択などの操作ができます。

2 給水の準備をする

▶ 分岐水栓から給水する場合

分岐水栓を開けてください。
分岐水栓の使いかたは、分岐水栓に付属している取扱説明書等をご覧ください。



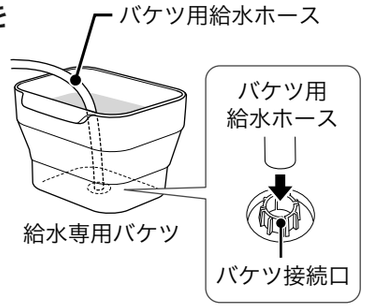
▶ 給水専用バケツ(別売品)で給水する場合

① 給水専用バケツに約9.5リットル(しっかりおまかせコースは約11.5リットル)の水を入れる

給水専用バケツを使用してください。
バケツ給水の使用水量の目安については、「洗浄コースについて」 16ページ をご確認ください。

② バケツ用給水ホース(別売品)の先端を給水専用バケツに固定する

底面のバケツ接続口にバケツ用給水ホースを差し込んで固定してください。



ご注意

- **水道水を使用してください。水道水以外の液体や、お湯は使わないでください。故障の原因になります。**
- **バケツ用給水ホースのフィルターに異物がつまっていると給水できません。フィルターの状態を定期的に確認し、異物がある場合は取り除いてください。**

食器を洗う／乾燥させる

1 ドアを開けて洗浄かごに食器をセットする

ドアを開けると、ディスプレイに「dr」が表示されます。
➡「食器を入れる」 12ページ

2 洗浄かごを庫内にセットし、ドアを閉める

上かごを使用するときは、上かご用ノズルが庫内奥のノズル取り付け部に奥までしっかり押し込まれていることを確認してください。
上かごを使用しないときは、必ず庫内奥の上かご用ノズル取り付け部にキャップを取り付けてください。

3 洗浄コースを選ぶ

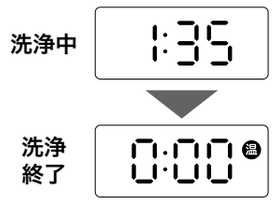


選んだ洗浄コースのランプが点灯し、運転時間が表示されます。
(おまかせ、しっかりおまかせコースは、洗浄が終わり、すすぎが始まると残り時間を表示します)
➡「洗浄コースについて」 16ページ

▶ 洗剤の自動投入量の変更、乾燥時間の追加、予約を設定する場合

洗浄コースを選んでから、《自動投入》《乾燥》《予約》ボタンを押して設定してください。
➡「オプションを設定する」 20ページ

4 スタート/一時停止 ボタンを押して、洗浄を開始する



給水後、洗浄が始まります。給水中は給水アイコン( )が点灯します。
表示中の運転時間が減っていき、残り時間を確認できます。
(おまかせ、しっかりおまかせコースは、洗浄が終わり、すすぎが始まると残り時間を表示します)
バケツ給水の場合、最初の給水に約2 ～ 3分かかります。洗浄やすすぎの工程に合わせて給水を行うため、バケツの水は一度に給水されません。

- 運転中に停電などにより電源が切れた場合、停電復帰後(電力復帰後)、中断したところから運転を再開します。

5 運転終了後、食器を取り出す

運転が終了するとブザーが鳴り、ディスプレイに「End」が表示されます。
洗浄かごをゆっくり引き出し、手前から食器を1つずつ取り出してください。

- 運転終了後約10分経過すると、自動的に電源をオフにします。

次のページにつづく➡

ご注意

- **バケツ給水の場合、運転終了後、バケツに水が残ることがあります。**
  洗浄コースにより水量が異なり、水が足りずに途中で運転が停止しないよう多めの水をバケツにご用意いただいているためで、故障ではありません。
- **運転中または運転終了後30分は、絶対に庫内や食器、メッシュトレイに触れないでください。お手入れは運転終了後、30分以上経過してから行ってください。**
  やけどの原因になります。

おしらせ

- **食器が乾いていてもドアや庫内などに水滴が残りますが、故障ではありません。**
  水滴が気になる場合は、ふきんなどで拭き取ってください。

オプションを設定する

電源を入れたときの設定は、前回使用時の設定が引き継がれます（予約を除く）。

▶ 洗剤の自動投入量を変更する

自動投入 ボタンを押して、洗剤量を選ぶ

自動投入の洗剤量（標準・多め）を切り替えます。
手動投入（洗うたびに洗剤を入れる）するときは、長押し（約3秒）して自動投入設定を解除します。
再度、自動投入で洗うときは《自動投入》ボタンを押して自動投入を設定してください。
《洗剤残量 少》が点滅しているときは、洗剤タンクに洗剤を補充してください。
➡「食洗機専用液体洗剤を入れる」 10ページ

標準 — 点灯 — 自動投入 — [ ]

洗剤量多め — 点灯 — 自動投入 — [ ]

設定解除 — 消灯 — 自動投入 — OFF

▶ 追加の乾燥を設定する

乾燥 ボタンを押して、追加の「温風」または「送風」を選ぶ

ボタンを押すごとに《温風》→《送風》→《乾燥なし》の順に切り替わります。

温風 — 点灯 — 乾燥 — [ ]温

送風 — 点灯 — 乾燥 — [ ]送

乾燥なし — 消灯 — 乾燥 — [ ]

▶ 予約を設定する

予約 ボタンを押す

《予約》ランプが点灯し、予約時間が表示されます。予約時間を1時間～ 6時間まで1時間単位で設定できます。
《予約》ボタンを押すたびに予約時間が次のように切り替わります。
1時間（1h）→2時間（2h） …→6時間（6h）→切（OFF）

予約 — 2h

温風で乾燥させる

設定できるオプション：なし
予約：できない

食器の洗浄は行わず、温風で食器を乾燥させます。

1 標準 ボタンを長押し（約3秒）して温風乾燥のみコースを選ぶ

温風アイコン（温）が点灯し、運転時間が点滅します。
《標準》ボタンを押して、運転時間を選びます。

1:00 温

2 標準 ボタンを押して、運転時間を選ぶ

運転時間は1 ～ 4時間で1時間ごとに設定できます。
《標準》ボタンを押すたびに運転時間が次のように切り替わります。
1時間（1:00）→2時間（2:00） …→4時間（4:00）

3 スタート 一時停止 ボタンを押して温風乾燥を開始する

温風乾燥を開始すると、運転時間が点滅から点灯に変わります。
表示中の運転時間が減っていき、残り時間を確認できます。
運転が終わるとブザーが鳴り、ディスプレイに「End」が表示されます。

おしらせ

- **温風乾燥開始時、排水を行う音がしますが異常ではありません。**

チャイルドロックを設定する

子どもが誤ってボタンを押してしまっても作動させないように、操作部のボタンをロックします。

本体の《予約》ボタンを長押し（約5秒）します。
解除するときは、再度《予約》ボタンを長押し（約5秒）します。

- チャイルドロック中にボタンを押すと、ディスプレイに「CL」と表示されます。
- 電源プラグを抜くと、チャイルドロックは解除されます。
- 運転終了後約10 分経過すると、自動的に電源をオフにし、チャイルドロックも解除されます。

チャイルドロック「設定」 — CL

チャイルドロック「解除」 — UCL

運転開始後に洗浄コースを変更する

運転中の洗浄コースを取り消して、他の洗浄コースに変更することができます。

1 スタート 一時停止 ボタンを押す
運転を一時停止します。

2 運転中の洗浄コースボタンを1秒間長押しする
運転中の洗浄コースが取り消されます。

3 再度、洗浄コースを選び、スタート 一時停止 ボタンを押す
選びなおした洗浄コースで運転を最初から開始します。

お手入れのしかた

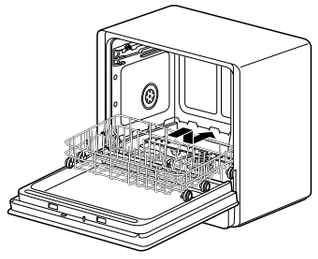
ご注意

- **お手入れは、電源を切って必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**
- **お手入れは運転終了後30分以上経過してから、庫内が常温になっていることを確認してから行ってください。**
  高温部に触れると、やけど・けがの原因になります。
- **本体に水やお湯をかけたり、庫内に大量の水を入れたりしないでください。**
  水漏れや内部に水が入るなどして、故障の原因になります。また、これらによって修理が必要となった場合、保証期間内でも保証の対象外となりますのでご注意ください。
- **お手入れ後に給水・排水ホースの接続が緩んでいる場合は、しっかり締め付けてください。**

下かご・上かごの取り付け、取り外しについて

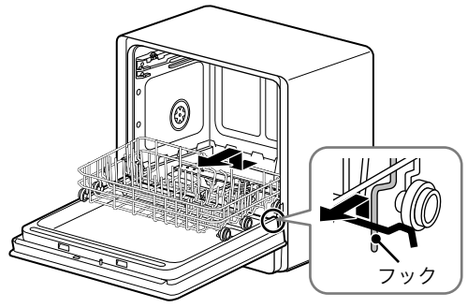
▶ 下かごの取り付けかた

下かごを車輪のレールにのせてスライドさせて取り付けます。
ご使用の前にきちんと下かごが庫内に取り付けられているか確認してください。



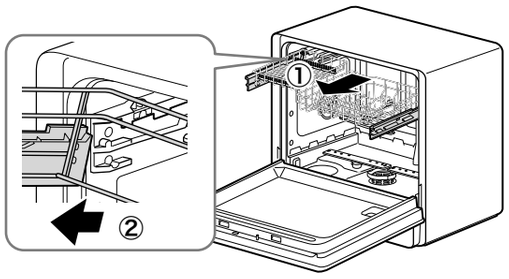
▶ 下かごを取り出す

前に引き出してから少し上に持ち上げ、フックをドアの縁から外しながら取り出します。



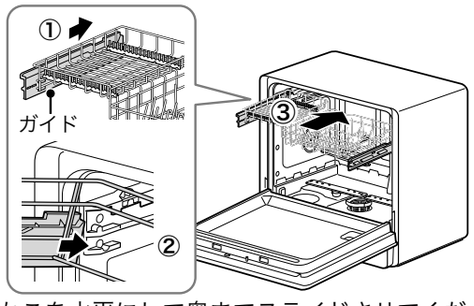
▶ 上かごを取り出す

前に引き出してから前側を少し上に持ち上げ、上かごを取り出します。



▶ 上かごの取り付けかた

①ガイドを手前に引っ張ります。
②ガイドを押さえたまま、上かごを斜め(手前を高く、奥を低く)にしてレールにはめ込みます。



③上かごを水平にして奥までスライドさせてください。
④上かご用ノズルを上かごに取り付けます。
➡「上かご用ノズルの取り付け」 14ページ
⑤上かごを奥までスライドし、庫内のノズル取り付け部にノズルの先端を差し込むみます。上かごを使用しないときは、必ず上かご用ノズル取付部にキャップを取り付けてください。

残さいフィルターとメッシュトレイ

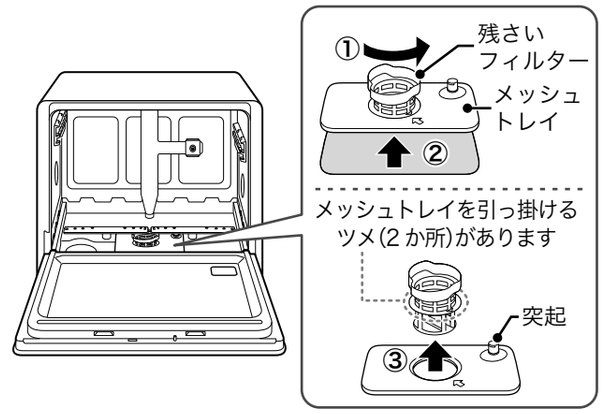
残さいフィルターは食器から取り除いた残さいが溜まりますので、メッシュトレイとあわせて毎回お手入れしてください。
残さいフィルターが詰まると洗浄効果が落ち、におい移りや排水不良などの原因になります。

1 洗浄かごを取り出す

上かご、下かごをそれぞれ取り出します。➡ 22ページ

2 残さいフィルターとメッシュトレイを取り外す

① 残さいフィルターを反時計回りに回してロックを解除する
② 残さいフィルターをメッシュトレイごと外す
③ 残さいフィルターのツメ(2か所)を外してメッシュトレイから外す
- メッシュトレイの突起部分は取り外せません。

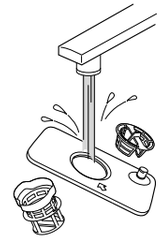


ご注意

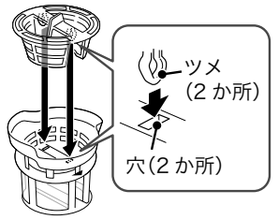
- **お買い上げ時は残さいフィルターが外しにくいことがあります。残さいフィルターのツメを確認しながら外してください。**
- **残さいフィルターの下に水が溜まっていることがありますが、故障ではありません。**

3 残さいフィルターの上部をまっすぐ引き抜いて外し、残さいフィルター内の残さいを捨て、残さいフィルターとメッシュトレイを流水で洗う

洗ったあとは水気をふき取り、乾かしてください。

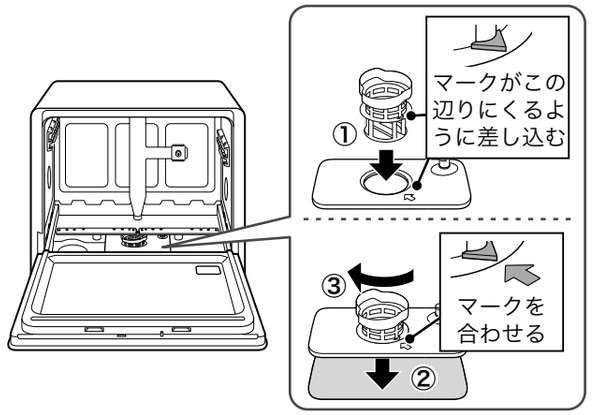


4 残さいフィルターの上部を下部に差し込み、まっすぐ押し込んで取り付ける



次のページにつづく➡

5 残さいフィルターをメッシュトレイに差し込み、本体に取り付ける



①残さいフィルターをメッシュトレイにまっすぐ差し込んで組み立てる
②残さいフィルターとメッシュトレイを庫内の元の位置にセットする
③残さいフィルターを時計回りに回して、残さいフィルターの▼をメッシュトレイの⏧の位置に合わせる

- メッシュトレイと残さいフィルターがしっかり取り付けられていることを確認してください。

6 洗浄かごを取り付ける

上かご、下かごをそれぞれ取り付けます。➡ 22ページ

ノズル・上かご用ノズル

ノズルは月に1回程度お手入れしてください。ノズルが詰まると、洗浄効果が落ちる原因になります。

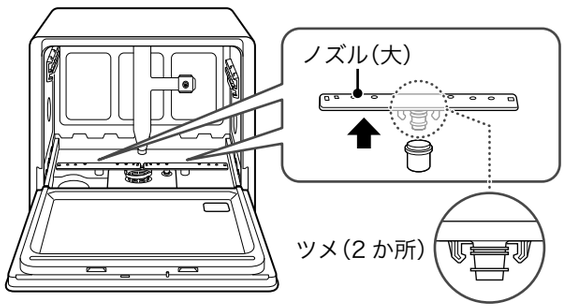
1 洗浄かごを取り出す

上かご、下かごをそれぞれ取り出します。➡ 22ページ

2 ノズルを取り外す

庫内底部からノズル(大)のツメ(2か所)を外して取り外します。

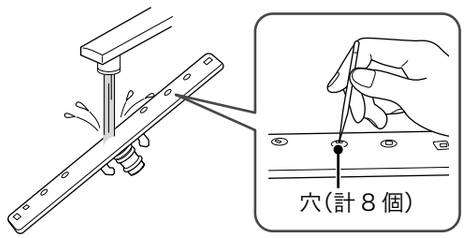
上かご用ノズルを上かごから取り外します。



3 ノズルを流水で洗う

流水で残さいなどを洗い流してください。

- つまようじなどを使用し、ノズルの穴の中もお手入れしてください。

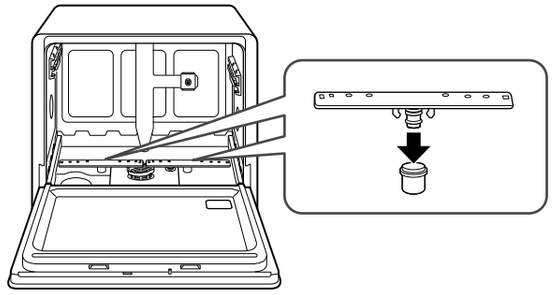


4 ノズルを取り付ける

庫内底部にノズル(大)をまっすぐ押し込んで取り付けます。

- ノズル(大)には左右の区別はありません。

上かご用ノズルを上かごに取り付けます。➡「上かご用ノズルの取り付け」14ページ



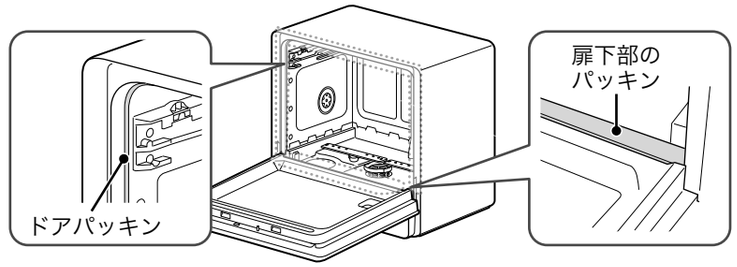
5 洗浄かごを取り付ける

上かご、下かごをそれぞれ取り付けます。➡ 22ページ

本体

本体は定期的にお手入れしてください。

- ドア・ドアパッキン・本体外側は、よく絞った布で拭いてから柔らかい布でから拭きしてください。
- 庫内、および扉下部のパッキン付近(右図参照)は、かごを取り出してからよく絞った柔らかい布で拭いてください。
- 本体や接続ホース下部は、油汚れを防ぐため、よく絞った柔らかい布で拭いてください。



ご注意

- **ドアパッキンが汚れた場合は、スポンジまたは水にぬらした清潔な布ですぐにお手入れしてください。**
- **お手入れの際は柔らかい布を使用し、目の粗いスポンジやクレンザーなどは使用しないでください。**
  本体やドアパッキンの傷の原因になります。
- **一週間以上使用しないときは、よく絞った布でドアパッキンと庫内の汚れを取り除き、柔らかい布でから拭きしてください。**
  水滴や汚れが付着していると、黒カビが発生する原因になります。
- **漂白剤・洗剤・シンナー・ベンジン・クレンザー・ワックス・消毒液などを使用しないでください(庫内への食洗機専用洗剤使用を除く)。**
  傷・変形の原因になります。

庫内

▶ 庫内洗浄コースを使う

設定できるオプション：自動投入、乾燥
予約：できない

庫内をきれいにしたいときに使います。食器は入れないでください。



1 本体の電源を入れ、給水の準備をする

➡「給水の準備をする」 18ページ

2 念入り ボタンを長押し（約3秒）する

《念入り》ランプが点滅します。

3 オプション（洗剤自動投入・乾燥）を選ぶ

手動投入の場合は洗剤を入れてください。洗剤なしでも運転できます。

4 スタート 一時停止 ボタンを押して洗浄を開始する

➡「食器を洗う／乾燥させる」 19ページ

洗剤タンク

▶ 洗剤タンクを洗浄する

設定できるオプション：なし
予約：できない

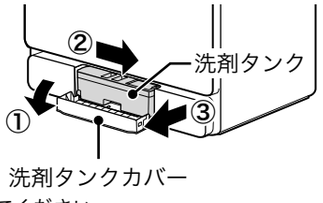
洗剤投入経路の詰まりを防ぐために、3か月ごとに洗剤タンクをお手入れしてください。
洗剤の種類を変えるとき、1か月以上使わなかったときも同様にお手入れします。
食器は入れないでください。



1 洗剤タンクカバーを開けて、洗剤タンクを取り出す

①洗剤タンクカバーを開ける
②洗剤タンクを右にスライドする
③洗剤タンクを手前に引き出す

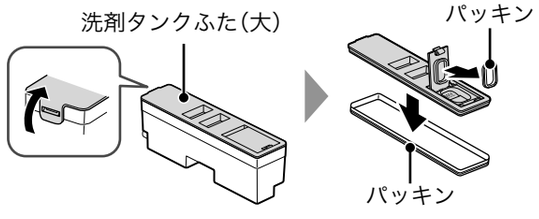
洗剤タンクに貼付の説明をご覧ください。



洗剤タンクを取り外すときに、洗剤が多少垂れます。垂れた洗剤をは拭き取ってください。

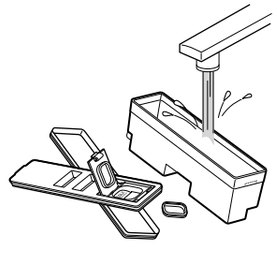
2 洗剤タンクふた（大）、洗剤タンクふた（小）のパッキンを取り外す

洗剤が残っている場合は捨ててください。

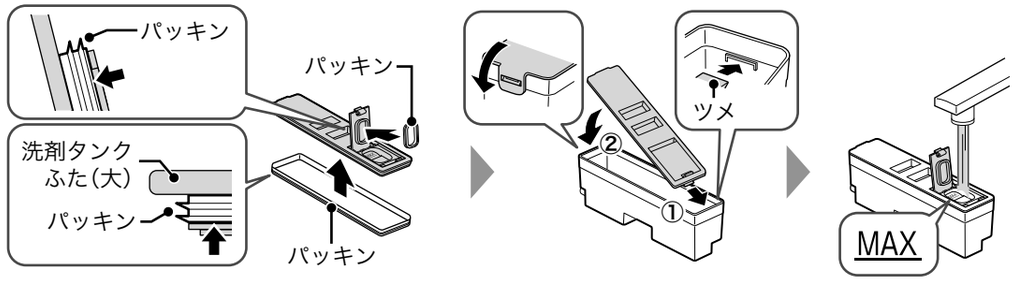


3 洗剤タンクふた（大）、洗剤タンクふた（小）、洗剤タンク、ふたのパッキンをお湯（約40℃）で洗う

- やわらかいスポンジを使って洗います。台所用洗剤は使用しないでください。
- 食洗機で洗ったり、60℃以上のお湯は使用しないでください。



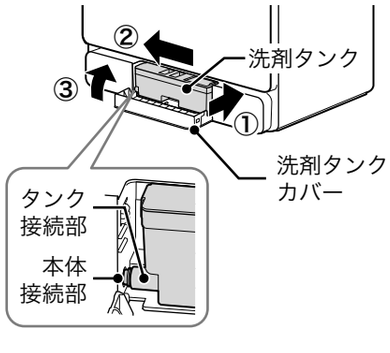
4 洗剤タンクを組み立て、MAXまでお湯（約40℃）を入れる



5 洗剤タンクを取り付ける

①洗剤タンクを奥に入れる
②洗剤タンクを左にスライドして押し込む
③洗剤タンクカバーを閉める

洗剤タンクに貼付の説明をご覧ください。



6 本体の電源を入れ、給水の準備をする

➡「給水の準備をする」 18ページ

7 ソフト ボタンを長押し（約3秒）する

《ソフト》ランプが点滅します。

8 スタート 一時停止 ボタンを押して洗剤タンク洗浄を開始する

➡「食器を洗う／乾燥させる」 19ページ

9 終了したら、洗剤タンクを取り出し、残ったお湯を捨て、水気をふき取る

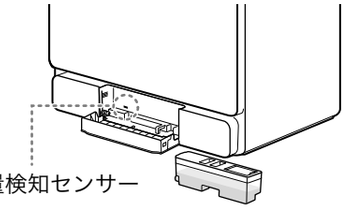
洗剤自動投入で洗うときは、洗剤を補充してからお使いください。

➡「食洗機専用液体洗剤を入れる」 10ページ

洗剤タンクカバーの内側

洗剤タンクカバーの内側は定期的にお手入れしてください。

- 洗剤タンクカバーの内側は、よく絞った布で拭いてから柔らかい布でから拭きしてください。
- 洗剤量検知センサーは綿棒などで汚れをやさしく拭き取ってください。



ご注意

- **漂白剤・洗剤・シンナー・ベンジン・クレンザー・ワックス・消毒液などを使用しないでください。**
  傷・変形・故障の原因になります。

据え付け

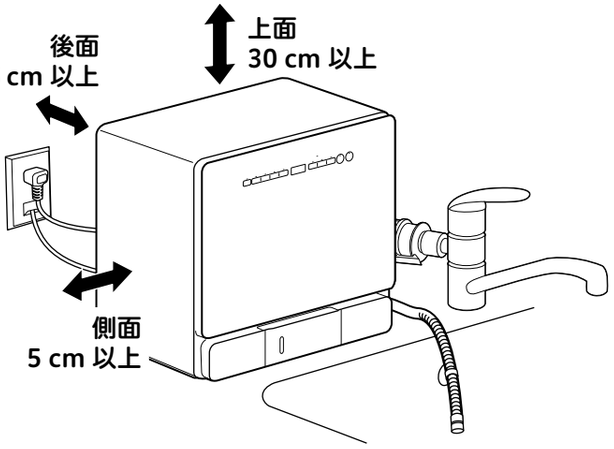
本製品は、以下の説明に従って正しく設置してください。
本書に記載の通りに設置・据え付け・試運転・点検を行わなかった場合、事故や損害が生じても当社は一切の責任を負いません。

おしらせ

- **本製品は水を使った検査をして性能を確認し、清掃をして出荷しています。そのため、少量の水が庫内に残っている場合がありますが、異常ではありません。**
- **庫内の洗浄かごに入っている梱包材や乾燥剤を使用前に必ず取り出してください。**
- **付属品は捨てずに保管してください。**

設置場所

- 本製品はキッチンのワークトップなど、**水平で安定した場所に設置**してください。傾いた場所に設置すると、水漏れしたり、正しく作動しないことがあります。
- ドアが正常に開き、問題なく操作できるだけの空間を確保してください。
- 背面の排気口、吸気口はふさがないでください。
- 本体の金属部分が、流し台のステンレス板や家屋の金属部分などと電気的に接触しないようご注意ください。法令により義務付けられています。（電気設備の技術基準の解釈）



⚠ 警告

ガスコンロなどの熱源から15cm以上離す
火災の原因になります。

⚠ 注意

冬場に凍結するおそれがある場所（室温0℃以下）に置かない
禁止

周囲にできる限り物がない所に置く
本体から出る蒸気によって、結露することがあります。

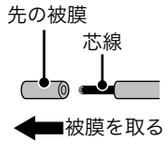
熱源から離し、直射日光の当たらない所に設置する
塗装のはがれや変色の原因になります。

アース・電源の接続

漏電時の感電防止のため、アースを確実に取り付けてください。

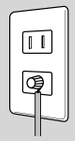
1 アースを取り付ける

▶ コンセントにアース端子がある場合

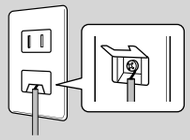


アース線先端の被膜を取ってください。
このとき、芯線を傷つけないように注意してください。

アース端子の例



つまみタイプ
つまみを緩め、ねじ部分にアース線先端の芯線を巻きつけ、つまみをしめてください。



ふた付タイプ
ふたを開けてドライバーでねじを緩め、ねじ部分にアース線先端の芯線を巻きつけます。ドライバーでねじをしめ、ふたを閉めてください。

▶ コンセントにアース端子がない場合

アース接地工事（電気工事有資格者によるD種接地工事）を行ってください。工事はお買い上げの販売店にご相談ください。

次の場合は、感電事故を防止するため電気工事有資格者による、D種接地工事が法律で義務づけられています。

- 湿気の多い場所
  水蒸気が充満する場所、土間・コンクリート床、酒・しょうゆなどを醸造または貯蔵する場所
- 水気のある場所（漏電遮断機の取り付けも義務付けられています。）
  水を取り扱う土間、洗い場など水気のある場所
  地下室など常に水滴が漏出したり、結露する場所
- 電源回路に漏電遮断器がないときは、漏電遮断器を取り付ける。
- ガス管・水道管・電話・避雷針のアース回路や、漏電遮断器を入れた他の製品のアース回路には、接続しない。

2 電源プラグをコンセント（AC100V、15A以上）にしっかりと差し込む

- たこ足配線はしないでください。
- 延長コードやテーブルタップは絶対に使用しないでください。

給排水の接続

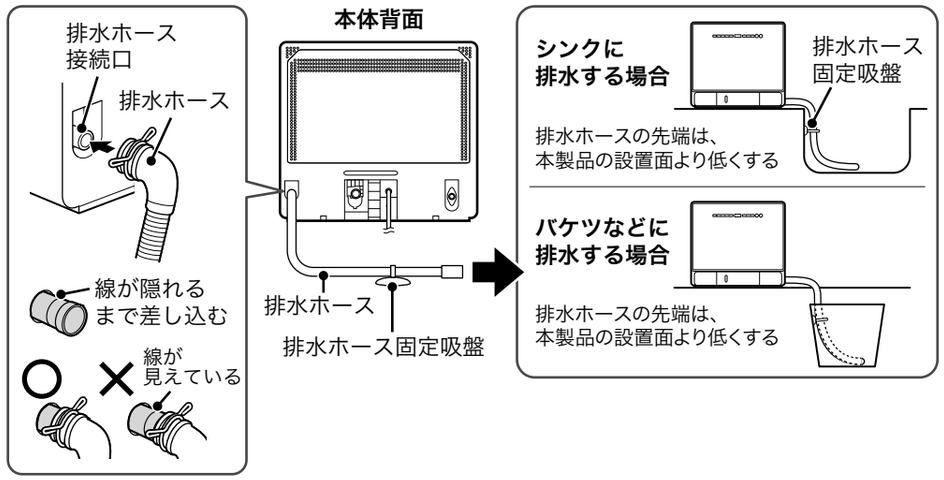
ご注意

- **本製品は給湯機に接続できません。**
- **分岐水栓を使用する場合、水道の水圧が0.02MPa ～ 0.80MPaの範囲であることを確認してください。**
  範囲外の水道で使用すると、故障の原因になります。
  水圧の確認は水道工事店またはお買い上げの販売店にご相談ください。

1 排水ホースを本体に接続する

排水ホースを本体背面の排水ホース接続口に奥までしっかり差し込み、クリップで固定します。

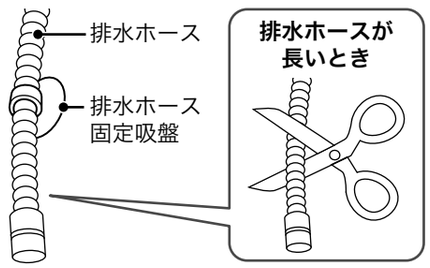
2



排水ホースを固定する

排水ホースを排水ホース固定吸盤で、排水場所に固定します。

- 排水ホースの先端は、本製品の設置面より低くしてください。
- 排水ホースが長すぎる場合は、はさみなどで余分な部分を切り取ってください。



ご注意

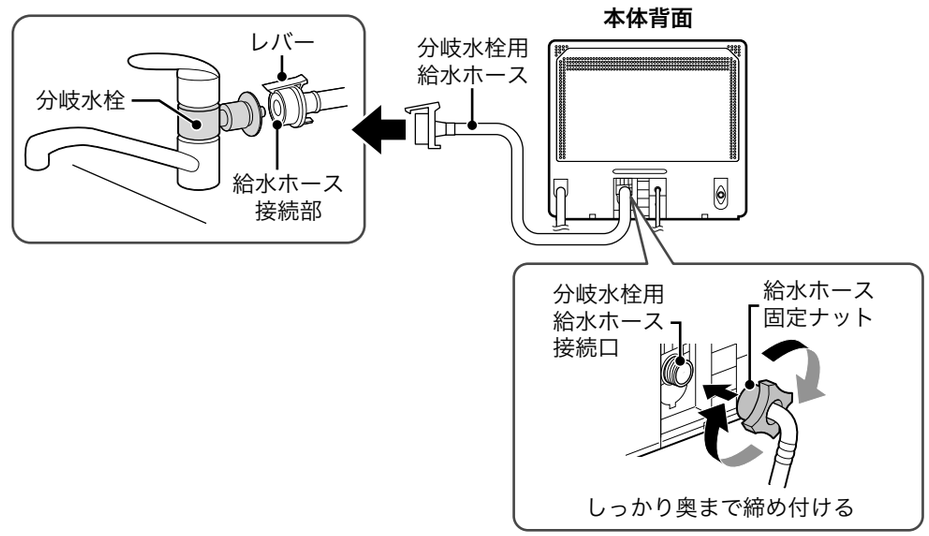
- **排水ホースは折れ曲がらないようにしてください。折れ曲がっていると排水ができません。**

3 給水ホースを接続する

▶ 分岐水栓から給水する場合

分岐水栓の取り付けかたに関しては、販売店または施工業者へお問い合わせください。
分岐水栓用給水ホースを分岐水栓用給水ホース接続口に差し込み、給水ホース固定ナットをしっかり締め付けます。
給水ホース接続部のレバーを押して、「カチッ」と音がするまで分岐水栓に押し込んで接続します。

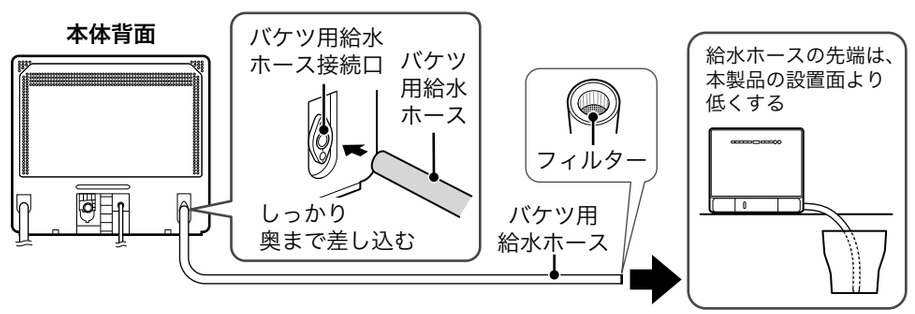
- 接続後は分岐水栓を開き、接続部などに水漏れがないことを確認してください。給水ホース接続口のふたを取り外すときは、ふたをなくさないように保管してください。



▶ 給水専用バケツ（別売品）で給水する場合

① 本体のバケツ用給水ホース接続口にバケツ用給水ホース（別売品）を取り付ける

バケツ用給水ホースを使用し、フィルターがついていない方の接続口を本体側に接続してください。



次のページにつづく➡

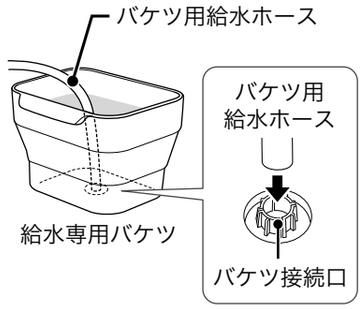
② 給水専用バケツに約9.5リットル(しっかりおまかせコースは約11.5リットル)の水を入れる

給水専用バケツを使用してください。

バケツ給水の使用水量の目安については、「洗浄コースについて」16ページをご確認ください。

③ バケツ用給水ホースの先端を給水専用バケツに固定する

底面のバケツ接続口にバケツ用給水ホースを差し込んで固定してください。



ご注意

- **水道水を使用してください。お湯や水道水以外の液体は使わないでください。故障の原因になります。**
- **バケツ給水用の給水ホースは、別売のバケツ用給水ホースを使用してください。市販のホースは使用できません。**
- **給水時と排水時で同じバケツを使用しないでください。**

4 試運転をする

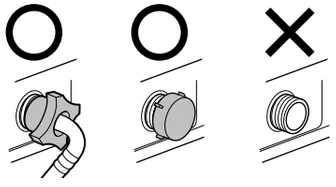
本製品は水を使った検査をして性能を確認し、清掃をして出荷しています。
そのため、少量の水が庫内に残り、においがすることがありますので、使用する前に必ず試運転を行ってください。

スピーディーコースで運転してください。
その際に、給水・排水ホースの接続部などに水漏れがないか確認してください。

- 運転のしかた ➡「給水の準備をする」18ページ
  ➡「食器を洗う／乾燥させる」19ページ

ご注意

- **本製品を使用しないときは、分岐水栓を閉めてください。**
- **分岐水栓用給水ホースは必ず付属の新品を取り付け、古いものは使用しないでください。**
  使用すると水漏れの原因になります。
- **分岐水栓を使用しない場合、給水ホース接続口のふたを外さないでください。**
  バケツから給水したとき、水漏れの原因になります。
- **給水ホースや排水ホースを外したときは、必ず接続口のふたを取り付けてください。**



仕上がりが気になるとき

こんなとき	ここを確認してください
食器の底のくぼみに水滴が残る、乾きが悪い	• かごに接触している部分や、くぼみなどに水滴が残ることがあります。少し傾けてセットすることで残る水の量は少なくなります。 • 食器が重なっていませんか。 食器を離して入れてください。 • スピーディーコースは送風による乾燥を行いません。食器を乾燥させるには、運転開始前に温風乾燥または送風乾燥を追加するか、運転終了後に温風乾燥のみコースを行うことをおすすめします。
汚れが落ちない	• 食洗機専用洗剤を使用していますか。 必ず食洗機専用洗剤を使用してください。 • 汚れがひどい場合は、自動投入のオプション設定で「洗剤量多め」に設定するか、手動投入で洗剤を多めに投入してください。 洗剤の量が足りないと汚れが落ちない場合があります。 • 食器がかごの底からはみ出して、ノズルの回転を止めていませんか。 食器がかごからはみ出さないように入れてください。 • 食器を入れすぎていたり、重ねて入れていたり、食器を入れる向きが間違っていませんか。 すべての食器にノズルの噴射水が届くように正しい向きで入れてください。 • 残さいフィルターやノズルが目詰まりしていませんか。また、きちんと取り付けられていますか。 残さいフィルターとノズルをお手入れしてください。 • 焦げ付きや油汚れなどがある場合は、事前にこすり落としてから入れるか、手洗いしてください。 • スピーディーコースは運転時間が短いため、汚れをしっかり落としたい場合は念入りコースで洗浄してください。 • 上かごを庫内奥までしっかりと差しこんでください。上かごを使用しないときは、庫内奥の上かご用ノズル取り付け部にキャップを取りつけてください。 • ミネラル分の多い水質(井戸水などの硬度の高い水)を使用している場合は、自動投入のオプション設定で「洗剤量多め」に設定するか、手動投入で洗剤を多めに投入してください。
食器が白くくもる、白い跡が残る	• 表面に小さな傷のついたガラス食器を高温で洗うと、まれに白くくもる場合があります。 • クリスタル製の食器は白くくもるため、入れないでください。 • ひどい油汚れは、汚れが残る場合があります。自動投入のオプション設定で「洗剤量多め」に設定するか、手動投入で洗剤を多めに投入して運転してください。 • 白い跡は水に含まれているミネラル分によるものです。ときどきクエン酸をつけて、手洗いしてください。
黄ばむ・黒ずむ	水に含まれている鉄分や、茶しぶなどによるものです。ときどき食器を手洗いしてください。
粉末洗剤が残る	• 粉末洗剤が固まっていませんか。 かたまりがある場合は砕いてから使用してください。 • 洗剤が古くなっていませんか。 新しい食洗機専用洗剤を使用してください。 • 洗剤を入れすぎていませんか。 食器の量や汚れ具合に応じた量を入れてください。 • ノズルが詰まっていたり、ノズルの回転が止まっていませんか。 ➡ ノズルのお手入れについて「ノズル・上かご用ノズル」24ページ
プラスチック製の食器が変形してしまう	• プラスチックは熱の影響で変形するおそれがあります。耐熱温度65℃未満のプラスチック製の食器は、洗えません。耐熱温度65℃～90℃のプラスチック製の食器はソフトコースで洗ってください。
プラスチック製の食器やシリコンカップなどの乾きが悪い	プラスチックやシリコンの製品は水をはじいて大きな水滴になるため、乾きにくくなります。プラスチック製の食器やシリコンカップなどは、水滴が残りにくいよう傾けてセットしてください。

故障かなと思ったら

── 修理を依頼する前にご確認ください ──

	こんなとき	ここを確認してください
本体	**電源が入らない**	電源プラグが抜けていませんか。 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	運転が開始されない	• ドアがきちんと閉まっていますか。 ドアをきちんと閉めてください。 • 給水アイコンが点滅していませんか。 分岐水栓を接続している場合は分岐水栓を開いてください。バケツから給水する場合は、バケツに水があるか、ホースから給水できる状態になっているか確認してください。
	ドアが閉まらない	• 食器がドアに当たっていませんか。 食器がドアに当たらないようにして、確実にドアを閉めてください。 • お買い上げ時は密封性を高めるために、ドアパッキンが固くなっています。使用していくと次第にパッキンがなじんできます。
	給水アイコン(⇆)が点滅する／給水アイコンが点灯し、E1が表示される	• 水が不足すると給水アイコンが点滅します。次のことを確認してください。 • 給水ホースが折れ曲がっていませんか。給水ホースを確認し、折れ曲がっている場合は直してください。 • 分岐水栓が閉まっていませんか。分岐水栓を開いてください。バケツから給水する場合は、バケツに水があるか、ホースから給水できる状態になっているか確認してください。 • 給水ホースが詰まっていませんか。電源プラグを抜いて分岐水栓を閉め、給水ホースをお手入れしてください。 • 断水していませんか。水道が復旧したら、他の水栓を開けて濁った水が流れないことを確認した後、本製品が接続されている分岐水栓を開けて運転を再開してください。 • 給水ホースが凍結していませんか。「凍結した」35 ページをご確認ください。 • 上記を確認してもE1が表示される場合、運転を再開できなかった場合は故障の可能性があります。電源プラグを抜いて使用を中止し、「修理をご依頼いただく前に」37 ページをご確認ください。
	使用するにつれ、庫内が白くくもる	水に含まれているミネラル分によって、白くもることがあります。庫内のお手入れは「庫内洗浄コースを使う」26 ページをご確認ください。
	ぶつかるような音やカタカタ音がする	• 食器がノズルに当たっていませんか。 食器が洗浄かごからはみ出すなどして、ノズルに当たらないようご注意ください。 • 軽い食器は運転中に移動することがあります。軽い食器を入れるときは、できる限り安定するように置いてください。
	泡が多量に発生する	台所用洗剤を使用していませんか。または事前に手洗いしたときの洗剤が残っていませんか。台所用洗剤は使用できません。少量でも付着していると故障の原因になりますので、必ず食洗機専用洗剤をご使用ください。 泡が消えない場合は、「台所用洗剤を使用して泡が消えないときは」37 ページをお試しください。
	給水が止まらない	給水弁が故障している可能性があります。分岐水栓を閉めて電源プラグを抜き、お買い上げの販売店または施工業者にお問い合わせください。
	洗浄やすすぎ中にノズルの噴射音が止まる	ノズルの穴が詰まっていませんか。ノズルのお手入れについて「ノズル・上かご用ノズル」24 ページをご確認ください。

	こんなとき	ここを確認してください
本体	**使用後、本体内部に水滴がついている**	結露によるものです。食器が乾いていてもドアの内側や庫内などに水滴が残りますが、故障ではありません。水滴が気になる場合は、ふきんなどで拭き取ってください。
	残さいフィルターの下に水が溜まっている	正常な状態です。故障ではありません。
	おまかせコースの運転時間が長い	おまかせコースでは、食器の汚れ具合に応じて自動で運転時間を調整します。また、食器の汚れ、食器の量が少なくても、カレーなどの色の濃い汚れの場合、設置状態、室温、水温、水道水圧の変化によっては運転時間が長くなる場合があります。 毎回、運転時間が長くなる場合は、運転開始後におまかせランプが点滅していないか確認してください。点滅している場合はにごり度センサーが故障している可能性があります。電源プラグを抜いて使用を中止し、販売店または家電の119番 訪問修理窓口にご連絡ください。
	時間表示が急に進む／変わらない	運転中に残り時間を自動調節しています。故障ではありません。
洗剤自動投入	**洗剤が自動投入されない**	• 1回当たりの使用量がわずかなため、目視では投入されたか分からない場合があります。 • 《洗剤残量 少》ランプが点滅していませんか。点滅しているときは、液体洗剤を補充してください。➡「食洗機専用洗剤を入れる」11 ページ • 洗剤投入経路が詰まっている場合があります。洗剤タンク洗浄コースで運転してください。➡「洗剤タンクを洗浄する」26 ページ
	自動投入設定時に手動でも洗剤を入れてしまった	洗剤が二重に投入されて入れ過ぎになり、すすぎが不充分になる場合があります。自動投入の設定を解除して、洗剤を入れずに標準コースで運転してください。
	洗剤タンクの洗剤がゼリー状になっている	故障の原因になるため、洗剤タンクのお手入れをしてください。 ➡「洗剤タンクを洗浄する」26 ページ
	洗剤タンク内に洗剤がないのに、残量少が点滅していない	タンク内の汚れが残量センサー感知を妨げている場合があります。洗剤タンクを洗浄してください。 ➡「洗剤タンクを洗浄する」26 ページ ➡「洗剤タンクカバーの内側」27 ページ
その他	**ブレーカーが落ちた**	原因を取り除いてからブレーカーを復帰させてください。電源が入ると運転を再開します。
	停電した	停電が回復したら、運転を再開します。
	断水した(分岐水栓と接続している場合)	《入／切》(電源)ボタンを押して電源を切り、分岐水栓を閉めます。水道が復旧したら、他の水栓を開けて濁った水が流れないことを確認した後、本製品が接続されている分岐水栓を開けて運転を再開してください。
	凍結した	• 分岐水栓用給水ホースが凍結した場合、分岐水栓と分岐水栓用給水ホースの接続部を、熱い蒸しタオルなどで包み、接続部を解凍してください。その後、給水ホースを外し、70℃程度の湯につけて給水ホースを解凍してください。 • 25℃以上の環境にしばらく放置してください。その後、運転を再開できなかった場合は、故障の可能性があります。電源プラグを抜いて使用を中止し、「修理をご依頼いただく前に」37 ページをご確認ください。

こんな表示が出たら

こんなとき	ここを確認してください
C1が表示	• 洗剤タンクの洗剤量が少ないため、運転ができません。洗剤を自動投入で洗うときは洗剤タンクに洗剤を入れてください。➡「食洗機専用液体洗剤を入れる」10ページ 《スタート／一時停止》ボタンを押して運転を開始してください。 • 洗剤を自動投入しないで手動投入で洗うときは、《自動投入》ボタンを長押し（約3秒）して自動投入を解除してお使いください。➡「手動投入で洗うとき」11ページ 《スタート／一時停止》ボタンを押して運転を開始してください。 手動投入から自動投入へは自動で切り替わりません。再度、自動投入で洗うときは《自動投入》ボタンを押して自動投入を設定してください。
C2が表示	洗剤タンクのお手入れ時期です。洗剤タンクのお手入れをしてください。 ➡「洗剤タンクを洗浄する」26ページ
C3が表示	洗剤タンクが取り付けられていません。洗剤タンクが取り付けられているか確認してください。
E1が表示	• 分岐水栓の場合、水栓は開いていますか（バケツ給水の場合、バケツに水は入っていますか）。給水できる状態になっているかを確認してください。 給水の準備ができたら、《入／切》（電源）ボタンを押して電源を入れ直し、《スタート/一時停止》ボタンを押して運転を開始してください。 • 給水ホースが折れ曲がっていませんか。 • 断水していませんか。 • 凍結していませんか。 以上のことをお調べになったあと「修理をご依頼いただく前に」37ページをお試しください。
E3、E9、Edが表示	電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 「修理をご依頼いただく前に」37ページをお試しください。
E4が表示	電源を切ってから以下のことを確認してください。 • 排水ホースが折れ曲がっていませんか。 • 残さいフィルターまたは排水ホースが詰まっていませんか。残さいフィルターのお手入れは「残さいフィルターとメッシュトレイ」23ページをご確認ください。 • 台所用洗剤を使用していませんか。食器に残った少量の洗剤でも泡が大量発生します。「台所用洗剤を使用して泡が消えないときは」37ページをお試しください。
給水アイコン（ ）が点滅	• 分岐水洗の場合は給水できる状態になっているか確認してください。給水の準備ができたら、《入／切》（電源）ボタンを押して電源を入れ直し、《スタート/一時停止》ボタンを押して運転を開始してください。 • バケツの中に運転に必要な水が不足しています。バケツに水が入っているか、ホースから給水できる状態になっているかを確認してください。 給水の準備ができたら、《スタート/一時停止》ボタンを押して運転を再開してください。

▶ E4表示からの復帰方法

本体を斜めにするなどして底面の水が排水されれば、症状が解消されることがあります。
ご注意：本体の隙間から水が漏れるため、流し台などで作業してください。

①電源プラグをコンセントから抜く
②本体の前面の下にタオルなどを敷く
③本体を前面に傾けて、本体底面にたまった水を抜く

その後、電源を入れて症状が解消されるか確認してください。1日程度時間をおいても運転を再開できなかった場合は故障の可能性があります。電源プラグを抜いて使用を中止し、「修理をご依頼いただく前に」37ページをお試しください。

以上のことをお調べになり正常に戻らないときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または家電の119番 訪問修理窓口にご連絡ください。

修理をご依頼いただく前に

復帰操作や時間をおくと症状が解消されることがあるため、修理をご依頼いただく前に下記に従って症状の確認をお願いします。

1. 電源が切れていることを確認して、電源プラグをコンセントから抜く。
2. 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる。
3. ディスプレイにE1、E3、E4、E9、Edが表示されているか確認する。
   ・表示されている　→ **5** へ進む
   ・表示されていない→ **4** へ進む
4. スピーディーコースで運転できるか確認する
   ・運転できる　→ 正常に運転終了した場合はそのままお使いください。
   ・運転できない→ **5** へ進む
5. 次の手順で庫内の水を排水する。
   ①《おまかせ》ボタンと《ソフト》ボタンを同時に長押し（約3秒）する
   ②「-:--」が表示され、庫内の水が排水される（不具合の内容によっては排水できないことがあります）
6. 電源を入れ直し、ディスプレイにE1、E3、E4、E9、Edが表示される場合、または運転できない場合、販売店または家電の119番 訪問修理窓口にご連絡ください。

お願い

ディスプレイに**E4**が表示される場合は、「E4表示からの復帰方法」36ページを参照し、必ず底面の水を抜いてから左記を確認してください。

▶ 台所用洗剤を使用して泡が消えないときは

1. ディスプレイにE4が表示される場合は、「E4表示からの復帰方法」36ページを参照し、底面の水を抜く。
2. 洗浄かご、残さいフィルター、メッシュトレイ、ノズル（大）を取り外し、水洗いする。
3. 庫内の泡を容器などですくって取り除き、残った泡をできるだけタオルなどで拭き取る。
4. 《おまかせ》ボタンと《ソフト》ボタンを同時に長押し（約3秒）し、強制排水する。
5. **自動投入した場合（洗剤タンクに台所用洗剤を入れて運転した場合）**
   洗剤タンクの洗剤を捨て、洗剤タンクを洗った後、洗剤タンク洗浄コースで2回運転する。
   ➡「洗剤タンクを洗浄する」26ページ
   手動投入した場合
   → **6** へ進む
6. スピーディーコースで運転し、泡がなくなっていることを確認する。
   泡が残っている場合は再度スピーディーコースで運転する。

仕様

品名(型番)	食器洗い乾燥機(ANG-DW-A13)
電源	交流 100 V、50/60 Hz
消費電力	923 W ／ 951 W
質量(約)	21 kg（本体、上かご、下かご、小物トレイ、小物入れ）
外形寸法(約)	幅 55 cm × 奥行 36 cm × 高さ 51 cm
最大使用水量(約)	8.5 L（標準コース：分岐水栓使用時）／ 9.5 L（標準コース：バケツ給水時）
水道水圧	0.02 MPa ～ 0.80 MPa
洗浄方式	回転ノズル噴射式
すすぎ方式	ためすすぎ
乾燥方式	ヒーターとファンによる強制排気
標準収納容量	40 点(大皿5点、中皿5点、小皿16点、茶わん5点、汁わん5点、コップ4点、小物類(はし、スプーン等))
専用洗剤の標準使用量(約)	約7 g（粉末洗剤）
付属品	上かご、下かご、小物トレイ、小物入れ、分岐水栓用給水ホース、排水ホース、洗剤タンク、キャップ
原産国	中国

重 要　**この製品は、日本国内用に設計・販売しています。日本国外では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。**

部品・消耗品

劣化・消耗したり、紛失してしまったときは、お買い上げの販売店またはインターネットでご注文いただけます。(「※」がついている部品は消耗品のため、保証期間内でも有料とさせていただきます。)

- プラスチック製の部品はご使用にともない、傷んだり摩耗したりします。

部品名	部品コード
分岐水栓用給水ホース	SS-M100-KH
排水ホース(吸盤付き)	SS-M300-HH
小物トレイ	SS-M300-KT
小物入れ	SS-M300-KI
給水専用バケツ	SS-M300-BK
バケツ用給水ホース	SS-M300-BH
残さいフィルター※ (Ag+抗菌アタッチメント付)	SS-M300-ZF

部品名	部品コード
メッシュトレイ (突起付き)	SS-M300-MT
上かご(上かご用ノズルは付属しません)	ANG-DW-A00-UK
下かご	ANG-DW-A00-RSK
洗剤タンクユニット	ANG-DW-A00-RTU
上かご用ノズル	ANG-DW-A00-UKN
キャップ	ANG-DW-A00-UKNF

保証とアフターサービス

―― 必ずお読みください ――

▶ 保証書(添付)

裏表紙に添付しています。保証書はよくお読みになり、大切に保管してください。
※一般家庭用以外の目的でご使用になる場合は、保証期間内でも保証対象外となります。

▶ 修理を依頼されるとき

「故障かなと思ったら」をご確認いただき、なお異常のあるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または家電の119番 訪問修理窓口にご連絡ください。

保証期間中(お買い上げ日から1年以内)の修理
保証書の規定により、無料で修理いたします。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎている(お買い上げ日から1年超)修理
修理によりお使いになれる製品は、お客様のご要望により有料で修理いたします。

▶ 保証期間

お買い上げ日から1年間です。消耗部品は保証期間内でも有料とさせていただきます。

▶ 修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料：診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代：修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料：お客様のご依頼により、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

▶ 補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造終了後6年です。
その製品の機能を維持するために必要な部品を補修用性能部品といいます。

▶ 廃棄について

廃棄はお住まいの市区町村のルールに従ってください。

ご相談窓口・修理窓口のご案内

お取り扱い・修理に関してはお買い上げの販売店へご相談ください

※お買い上げの販売店にご依頼できない場合(転居や贈答品など)は各窓口へお問い合わせください。ご提供いただいたお客様の個人情報は、ご意見・ご質問への回答および弊社のお客様サービス向上のために利用させていただきます。
ご質問の内容によりましては、適切な回答のためにエディオングループ、および関係会社に情報を提供する場合がございます。
その他、ご提供いただいたお客様の個人情報はエディオングループ個人情報保護方針に基づいてお取り扱いいたします。

エディオングループ個人情報保護方針：https://www.edion.co.jp/privacy

ご相談窓口 ～製品に関するお問い合わせ～

エディオンお客さま相談センター

ナビダイヤル **0570-07-0557**(有料)
受付時間：月曜日～金曜日 **9:30 ～ 18:30**
(土日祝・年末年始除く)

〒530-0005　大阪府大阪市北区中之島二丁目3番33号　大阪三井物産ビル

●お電話は番号をよくお確かめの上、お間違いのないようにおかけください。
●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。
(2023.11時点)

修理窓口 ～修理に関するお問い合わせ～

家電の119番　訪問修理窓口

ナビダイヤル **0570-06-0119**(有料)
受付時間：月曜日～日曜日 **9:00 ～ 19:00**(年中無休)
※年末年始に関しては受付時間の変更がある場合があります。

●お電話は番号をよくお確かめの上、お間違いのないようにおかけください。
●電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。
(2023.11時点)